

UI ターン就職後のまちづくり参加とライフキャリア形成に資する

ための学生参加型事例研究の取り組み II

相場 毅正¹

Case Study of Student Participation in the Local Community and Life Career Development for Those Intending to Return to Work in their Hometowns

AIBA Takemasa

1. はじめに

62.3%の大学生が大学は都内等で過ごした後地元等への UI ターン就職を希望する。UI ターン後のまちづくり参加、地域との関わりについて、その土地でのライフキャリアという広い視点で捉え、実際に地域で活躍する人からのケーススタディを 2023 年 11 月から 6 名の学生と共に開始した。2023 年度同タイトルの紀要にて纏めた。趣旨・目的は前回紀要のとおりであるが、2024 年度は実際に学生と共に現地へ行き実践型の学習を行ったことを報告する。

2. プログラムの現在までの経過（2023 年度中間報告以降）

- 2024 年 3 月 21 日 教室 ゲストスピーカー事例提供 北海道白老町 貳又聖規さん
- 2024 年 5 月 11 日 実地 筆者の事例提供 群馬県太田市 地域資源の活用（バラ園）
- 2024 年 6 月 17 日 オンライン 現地（佐世保市）への出発前ミーティング
- 2024 年 8 月 2,3 日 実地 佐世保市を訪問し『REPORT 佐世保』周辺で実地研究
～2025 年 2 月 まちづくり参加・提案シートの作成 取りまとめ

3. プログラムについて

『REPORT 佐世保』は、本プロジェクトのメインの調査対象であり夏季休暇期間中に現地を訪問し調査を行った。本業は佐世保市役所の職員であり、REPORT の代表理事である中尾大樹さんを中心に話を伺い、コミュニティの拠点であるカフェや、まちに没入するためのマイクロホテル事業を見学した。学生からは事前を含めストレートな疑問、質問が飛び交い、例えば事業資金についてであった。まちおこしに寄与したい目的での、団体や企業からの

※本研究は令和 6 年度昭和女子大学現代ビジネス研究所研究助成金の助成を受けたものである。

¹ 昭和女子大学現代ビジネス研究所 研究員

「補助」の獲得の仕方や、構成員・仲間にデザインに長けた人や建築を本業とする方など、多様な人材が集い違った能力を発揮したことで費用を抑え「自分たちでやる」ことができたこと、組織の形態としての「一般社団法人」等、自分が地元等に帰った際の具体的、実践的な選択肢を持ち帰ることができた。プロジェクト参加学生の志望は地方自治体や地方銀行等であった。副業、兼業禁止の兼ね合いからも、地域での取組・事業をどこまでやっていいのか確信を持たずにいたが、人事部門への確認含めて職務専念義務とも抵触せず、まちを楽しくする事業活動を「中尾さんのようにやってよいのだ」という確認、自信にもつながった。『白老町 BLUESALMON』貳又聖規さんのスピーチ「本物の観光」等本質的な捉え方に学生も大いに衝撃を受けた。1 ゲストとして迎えたがそれでは足りず今後大きく取り上げたい。ほか太田市では筆者のバラ園取組に学生 1 名が参加し地域資源活用の実践を体感した。



4. 成果と今後の展望

まちづくり提案シートについて、最初に提出されたものと現時点のものを比較すると、具体性や課題意識が飛躍的に増した。佐世保市等現地の実際を見て感じ、実践型の思考・行動にシフトチェンジするための背中を押せたことが成果である。プロジェクト参加開始時の 3 年生が 4 年生となった。1 名の学生が地元公官庁に合格し U ターン就職を果たした。このプログラムの存在・繋がりが学生に貢献できたことを評価したい。1 名の学生はブライダル業界に就職した。ブライダルをまちづくりと融合させたい意思を持っており、卒論のテーマとして佐世保市でのウェディングの取組を取り上げたいと相談を受けた。卒業する 2 名も今後の好事例となり、情報交換等続け、また次の学生ためのフィードバックが生み出せれば有意義である。ケーススタディ・事例提供の活動を継続し、学生と事例提供者及びまちづくりに関わるステークホルダーとのプラットフォーム創りを深めたい。

<参考文献>

- ・ 2025 年卒大学生 U ターン・地元就職に関する調査 https://career-research.mynavi.jp/research/20240509_75888/ 2025.2 マイナビキャリアリサーチ Lab 内検索
- ・ 長崎だより 2021.10 十八親和銀行 古瀬 著
https://www.fukuoka-fg.com/data_report/202110/nagasaki.pdf?fbclid=IwAR24Vm7SefXyiAulInwlmNH6t6tKiTlqSr_neKwtHjJZH0O-6X7RMtftJRY 2025.2 FFG 調査月報内検索
- ・ 貳又聖規 BLUESALMON の挑戦 <https://blue-salmon.com/business/>